

公益社団法人好善社 2016 年度事業報告

1. 国内ハンセン病療養所の訪問及び入所者との交流

- (1) 代表理事を中心に、理事、社員は療養所訪問に努め、定期訪問を含め延べ 119 回の訪問を実施。
- (2) 棟居 勇理事、川崎正明理事が毎月各 1 回、三吉信彦代表理事が随時、多磨全生園を訪問した。
- (3) 棟居 勇理事が隔月、駿河療養所を訪問した。
- (4) 樋口義也社員が毎月 1 回、呂久光明園を訪問した。
- (5) 社員は周囲の人々を療養所に案内し交流啓発の機会とした。岡本社員 4/14,15 星塚敬愛園に鹿児島在住、市民学会参加者 1 名、棟居洋社員 5/24 乗理事に同行し駿河療養所に妻を同伴、山本社員 6/30 長島愛生園、呂久光明園に園田教会員 2 名、三吉代表理事 7/31 多磨全生園に千葉教会関係者 3 名、1/29 多磨全生園に千葉教会員 1 名、川崎理事 8/27 大島青松園にパートナー同伴、12/25 大島青松園霊交会クリスマス礼拝に 3 名を案内した。
- (6) 療養所教会の牧会支援者の支援環境整備のための情報提供、情報交換等は随時行った。
- (7) タイ国青少年ワークキャンプ参加者のリユニオンは諸般の事情により実施できなかった。代えて、タイ国キャンパーによる宮古南静園スタディツアーが行われ（8月 25 日〔木〕～27 日〔土〕）、将来に向けて示唆を与える企画となった。このツアーに 5 万円を援助した。

2. ハンセン病の正しい知識の啓発と患者・回復者の人権の擁護及び回復の支援

- (1) 広報紙「ある群像」109 号を 5 月に、110 号を 11 月に発行し、ハンセン病への関心と理解を啓発し、合わせて当社の活動への協力・支援を求めた。
- (2) ホームページにより「ハンセン病」について広報啓発活動を行った。
- (3) 「ハンセン病を正しく理解する講演会」を下記により関東、関西二カ所で開催した。

関西の部 6月18日（土）午後2時 会場 日本初声教会西宮中央教会 出席者 63名

講演「らい予防法廃止から 20 年～人間回復への願いと私の闘い～」

講師 森元美代治氏（NPO IDEA ジャパン代表、多磨全生園入所者自治会元会長）

関東の部 6月25日（土）午後2時 会場 国立ハンセン病資料館 出席者 124名

講演「らい予防法廃止から 20 年～人間回復への願いと私の闘い～」

講師 森元美代治氏（NPO IDEA ジャパン代表、多磨全生園入所者自治会元会長）

注：当初講師は現自治会長佐川修氏を予定していたが、体調を崩されたため急遽森元氏に関西に続いて講演していただいた。

- (4) ブックレット 14（平沢講演 400 部）、15（中講演 300 部）を発行した。

3. 海外ハンセン病事業への協力及び支援

- (1) 専門家派遣 看護師

阿部春代理事のタイ国コンケン県立シリントン病院におけるハンセン病医療とプライマリーケア・ユニット（PCU）への協力を継続した（27 年目）。

- (2) 当社タイ国姉妹団体チャントミット社に対し、下記の支援・協力を実施した。

- ① 財政支援として 1,750,000 円を送金した（30 年目）。

- ② 「タイ国ハンセン病施設教育基金」をチャンタミット社と協力して管理・運用し、同社の申請に基づき、862,604円を送金した。
- ③ チャンタミット社理事長カンチャナ女史ほかタイ国牧師2名の訪日研修を受け入れた。9月12日(月)～21日(水)
- ④ 第12回タイ国ハンセン病施設青少年ワークキャンプを実施した。

日程：11月5日(土)～7日(月) 場所：メータ村

日本側参加者の渡タイ日程は11月3日(木)～9日(水) 参加人員11名、他タイ人50名、総計61名

特記事項：宮古南静園 園長新城日出郎氏、回復者上里榮氏の参加を得た。

- (3) ラオス視察 阿部理事 8月11日(木)～12日(金)、11月21日(月)～23日(水)
- (4) 日本の医療チーム、国際看護教育等に協力した。①日本の群馬大学医学部保健学科国際看護学分野でのシリントン病院実習 9月5日(月)～9日(金) ②花巻高等看護専門学校講義 5月10日(火)、11日(水) ③久留米大学大学院医学研究科特別講義 2017年3月16日(木)
(担当：阿部理事)。
- (5) 理事(2回)、社員(2回)が、タイ国を訪問した。